



一般社団法人 日本病理学会
〒113-0034
東京都文京区湯島1-2-5
聖堂前ビル7階
TEL: 03-6206-9070
FAX: 03-6206-9077
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第392号

令和2年(2020年)12月刊

1. 第66回秋期特別総会 終了

標記総会が開催され、盛会にて終了いたしました。

会期：令和2年11月12日(木)～13日(金)

会場：アクトシティ浜松(ライブ中継, オンデマンド配信)

会長：浜松医科大学 梶村 春彦

なお、学術集会、社員総会、理事会等の詳細につきましては、今後の会報、HP等にて順次ご報告いたします。

2. 平成31/令和元年度事業報告及び決算について

令和2年11月12日開催の令和2年度定時社員総会(第66回秋期特別総会・浜松)において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 平成31/令和元年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

(1) 第108回日本病理学会総会

(於 東京・坂元亨宇会長)

(2) 第65回日本病理学会秋期特別総会

(於 つくば・野口雅之会長)

2. 研究会、講習会等の開催

(1) 第16回日本病理学会カンファレンス

(2) 細胞診講習会・病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会・分子病理専門医講習会

(3) ゲノム病理標準化講習会

(4) 第13回診断病理サマーフェスト

(5) 各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等

3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行(第108巻第1～2号)

2. 「Pathology International」の発行(Vol.69 4～12, Vol.70 1～3)

3. 「診断病理」の発行(第36巻第2～4号, 第37巻第1号)

4. 「日本病理学会会報」の発行(第373～383号)

5. 「お知らせ」(第35号～36号)の発行

6. 「病理専門医部会報」の発行(平成31/令和元年第2～4号, 令和2年第1号)

III. 研究および調査並びに知識の普及

1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第60輯(平成29年症例)

2. 剖検輯報編集方法の充実

3. 剖検記録データベースの更新

4. 病理学卒前教育の充実

5. インターネットホームページの充実

6. 政府等委託・研究事業の実施

(1) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)委託研究事業

「病理診断支援のための人工知能(病理診断支援AI)開発と統合的『AI医療画像知』の創出」

(2) 令和元年度厚生労働省補助金事業

「希少がん診断のための病理医育成事業」

IV. 研究の奨励および研究業績の表彰

1. 日本病理学賞(宿題報告)の授与

2. 病理診断学賞(病理診断特別講演)の授与

3. 学術研究賞(A演説)の授与

4. 症例研究賞(B演説)の授与

5. 学術奨励賞の授与

6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与

V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新

2. 病理専門医の広報

3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新

4. 病理専門研修プログラムの運用指導

5. 暫定分子病理専門医の認定

6. 病理解剖研修の充実

7. 生涯教育の充実

8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実

9. 病理精度管理体制の充実

10. 各種ガイドラインの作成

11. 医療における病理診断・病理解剖の推進

VI. 学術団体等との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援(国内)の実施

2. 腫瘍取扱い規約等の改訂・「領域横断的癌取扱い規約」の刊行

3. 海外病理学会との交流

VII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 会員システムの充実
2. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(2) 平成 31/令和元年度決算報告書

1) 貸借対照表

2020 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	177,526,318	170,117,004	7,409,314
現金	1,066,544	1,528,799	△ 462,255
普通預金	112,739,114	118,951,989	△ 6,212,875
定期預金	0	0	
郵便振替	29,731,369	17,752,808	
支部現金預金	33,989,291	31,883,408	2,105,883
未収金	876,790	209,443	667,347
前払金	5,967,939	7,227,176	△ 1,259,237
前払費用	276,475	0	276,475
仮払金	141,700	0	141,700
流動資産合計	184,789,222	177,553,623	7,235,599
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
学術医療振興基金引当預金	98,436,396	98,436,106	290
国際交流基金引当預金	20,157,282	20,157,540	△ 258
100周年記念事業引当資産	2,589,705	3,890,973	△ 1,301,268
退職給付引当預金	0	0	0
特定資産合計	121,183,383	122,484,619	△ 1,301,236
(3) その他固定資産			
器具工具備品	21,797,883	12,716,974	9,080,909
ソフトウェア	8,963,138	22,613,503	△ 13,650,365
保証金	1,578,780	1,578,780	0
長期貸付金	1,000,000	1,000,000	0
その他固定資産合計	33,339,801	37,909,257	△ 4,569,456
固定資産合計	184,523,184	190,393,876	△ 5,870,692
資産合計	369,312,406	367,947,499	1,364,907
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	35,840,460	28,400,817	7,439,643
前受金	5,684,000	6,932,000	△ 1,248,000
預り金	1,453,982	1,505,227	△ 51,245
仮受金	0	0	0
未払法人税等	213,600	70,000	143,600
未払消費税等	3,222,400	0	3,222,400
流動負債合計	46,414,442	36,908,044	9,506,398
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,522,140	11,517,600	2,004,540
固定負債合計	13,522,140	11,517,600	2,004,540
負債合計	59,936,582	48,425,644	11,510,938
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)

(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	309,375,824	319,521,855	△ 10,146,031
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(121,484,619)	(122,484,619)	(1,301,236)
正味財産合計	309,375,824	319,521,855	△ 10,146,031
負債及び正味財産合計	369,312,406	367,947,499	1,364,907

2) 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,484	150	1,334
基本財産受取利息	1,484	150	1,334
特定資産運用益	0	2,660	△ 2,660
特定資産受取利息	0	2,660	△ 2,660
受取会費	70,023,153	69,132,776	890,377
学術評議員会費	16,778,000	17,732,080	△ 954,080
一般会員年会費	32,678,000	32,721,920	△ 43,920
賛助会員受取会費	200,000	0	200,000
終身会員費	4,500,000	3,600,000	900,000
病理専門部会費	15,864,000	15,072,000	792,000
海外会員年会費	3,153	6,776	△ 3,623
事業収益	215,500,392	149,387,488	66,112,904
学術集会収益	133,918,680	88,117,197	45,801,483
広告料収益	476,000	274,000	202,000
輯報刊行物収益	10,253,890	10,350,000	△ 96,110
専門医制度収益	39,193,746	28,260,000	10,933,746
病理専門医部会収益	4,478,746	4,609,732	△ 130,986
講習会等収益	8,922,000	6,683,240	2,238,760
支部集会等収益	4,789,551	5,377,000	△ 587,449
賠償保険事務収益	3,473,659	3,151,319	322,340
ゲノム講習会収益	9,994,120	2,565,000	7,429,120
受取委託収益	151,609,799	257,742,562	△ 106,132,763
受取委託収益	151,609,799	257,742,562	△ 106,132,763
受取補助金等	28,664,705	78,358,133	△ 49,693,428
受取寄付金	14,769,596	10,005,393	4,764,203
受取寄付金	14,769,596	10,005,393	4,764,203
雑収益	16,460,953	22,125,019	△ 5,664,066
受取利息	1,660	1,752	△ 92
雑収益	4,167,161	6,229,607	△ 2,062,446
著作権協会分配金	186,556	0	186,556
PIロイヤリティ	6,539,655	6,832,437	△ 292,782
著作権使用料	73,096	684,470	△ 611,374
編集協力費収入	2,083,225	3,560,073	△ 1,476,848
日病会誌	970,000	827,160	142,840
転載料	2,439,600	3,989,520	△ 1,549,920
経常収益計	497,030,082	586,754,181	△ 89,724,099
(2) 経常費用			0
事業費	467,648,529	559,202,380	△ 91,553,851
給与手当	32,225,890	19,339,464	12,886,426
臨時雇賃金	32,000	176,800	△ 144,800
退職給付費用	115,620	0	115,620
福利厚生費	65,690	29,337	36,353
会議費	5,693,882	1,414,567	4,279,315
旅費交通費	22,306,717	16,039,535	6,267,182
通信運搬費	23,884,888	46,871,972	△ 22,987,084

消耗什器備品費	3,552,574	15,636,250	△ 12,083,676
消耗品費	5,340,193	14,621,942	△ 9,281,749
修繕費	0	57,116	△ 57,116
印刷製本費	38,926,085	37,234,586	1,691,499
光熱水料費	493,888	476,112	17,776
賃借料	10,063,437	20,850,039	△ 10,786,602
諸謝金	18,617,401	17,986,008	631,393
租税公課	26,010	13,150	12,860
支払負担金	60,000	80,000	△ 20,000
支払助成金	3,510,771	3,149,781	360,990
支払寄付金	1,060,000	2,500,000	△ 1,440,000
委託費	125,886,951	232,832,329	△ 106,945,378
雑費	4,537,161	8,372,909	△ 3,835,748
支払手数料	6,579,409	4,348,874	2,230,535
新聞図書費	135,461	0	135,461
学術集会同会場費	55,593,298	29,811,254	25,782,044
学術集会設営費	39,327,502	22,265,263	17,062,239
学術集会人件費	18,392,903	22,955,767	△ 4,562,864
学術集会業務委託費	11,008,662	9,224,515	1,784,147
学術集会広告費	516,900	4,119,120	△ 3,602,220
学術集会印刷費	11,343,038	10,422,908	920,130
学術集会同会議費	11,162,801	14,377,756	△ 3,214,955
学術集会諸費用	17,189,397	3,995,026	13,194,371
管理費	39,527,620	29,018,904	10,508,716
臨時雇賃金	77,802	274,632	△ 196,830
退職給付費用	2,004,540	0	2,004,540
福利厚生費	34,346	2,846,725	△ 2,812,379
会議費	0	864,669	△ 864,669
旅費交通費	162,045	387,791	△ 225,746
通信運搬費	285,409	416,353	△ 130,944
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	184,342	363,841	△ 179,499
修繕費	0	324,000	△ 324,000
法定福利費	4,865,631	0	4,865,631
印刷製本費	254,516	2,536,800	△ 2,282,284
保険料	20,420	0	20,420
諸謝金	371,049	190,000	181,049
租税公課	6,792,491	192,430	6,600,061
支払負担金	2,142,223	1,362,000	780,223
支払助成金	700,000	200,000	500,000
委託費	781,347	1,019,081	△ 237,734
雑費	997,069	1,028,001	△ 30,932
減価償却費	19,043,535	16,028,891	3,014,644
支払手数料	810,855	983,690	△ 172,835
経常費用計	507,176,149	588,221,284	△ 81,045,135
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,146,067	△ 1,467,103	△ 8,678,964
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,146,067	△ 1,467,103	△ 8,678,964
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
一般事業振替	35,117,477	△ 108,001,838	143,119,315
支部会計振替	△ 8,086,000	△ 8,189,000	103,000
委託事業振替	△ 25,218,596	99,569,901	△ 124,788,497
収益事業振替	△ 1,812,845	16,622,437	△ 18,435,282
税引前当期一般正味財産増減額	△ 10,146,031	△ 1,465,603	△ 8,680,428
法人税、住民税及び事業税	0	0	0

当期一般正味財産増減額	△ 10,146,031	△ 1,465,603	△ 8,680,428
一般正味財産期首残高	319,521,855	320,987,458	△ 1,465,603
一般正味財産期末残高	309,375,824	319,521,855	△ 10,146,031
II 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	309,375,824	319,521,855	△ 10,146,031

3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 工具器具備品

定率法によっている。

② ソフトウェア

定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,436,106	830	540	98,436,396
国際交流基金引当預金	20,157,540	174	432	20,157,282
100周年記念事業引当預金	3,890,973	24,152	1,325,420	2,589,705
合計	152,484,619	25,156	1,326,392	151,183,383

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	30,000,000	0
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,436,396	0	98,436,396	0
国際交流基金引当預金	20,157,282	0	20,157,282	0
100周年記念事業引当預金	2,589,705	0	2,589,705	0
合計	151,183,383	0	151,183,383	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具工具備品	29,553,019	7,755,136	21,797,883
ソフトウェア	40,869,360	31,906,222	8,963,138
合計	70,422,379	39,661,358	30,761,021

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
希少がん病理診断支援補助金	厚生労働省	0	26,757,000	0	26,757,000	一般正味財産
100周年記念事業支部補助金		0	1,907,705	0	1,907,705	一般正味財産
寄附金						
第108回春期総会寄附金	日本製薬団体連合会	0	5,000,000	0	5,000,000	一般正味財産
第108回春期総会寄附金	その他民間財団等	0	6,369,502	0	6,369,502	一般正味財産
第65回秋期総会寄附金	筑波大学診断病理同窓会	0	770,000	0	770,000	一般正味財産
第65回秋期総会寄附金	つくば観光コンベンション協会	0	850,000	0	850,000	一般正味財産
第13回診断病理サマーフェスト寄附金	その他民間財団等	0	20,000	0	20,000	一般正味財産
第16回夏の学校北海道支部寄附金	その他民間財団等	0	1,660,000	0	1,660,000	一般正味財産
関東支部サマーセミナー寄附金	その他民間財団等	0	100,094	0	100,094	一般正味財産

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記2.基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	11,517,600	2,004,540	0	0	13,522,140

4) 財産目録

2020年3月31日現在 (単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	1,066,544
	普通預金			112,739,114
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(一般用)	14,417,891
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(専門医用)	4,242,902
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(専門医部会用)	3,721,133
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(剖検用)	6,750,160
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(保険用)	6,648,606
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(研究費用)	62,019,200
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(口腔病理用)	928,902
		みずほ銀行本郷支店	運転資金として(退職引当用)	13,833,774
		三菱UFJ銀行本郷支店	運転資金として(基本財産運用用)	176,546

	振替口座			29,731,369
	支部現金預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	29,731,369
		各支部現金預金	運転資金として	33,989,291
	未収金			876,790
	前払金			5,967,939
		聖堂前ビル事務所賃借料		413,490
		第16回日本病理学会カンファレンス補助金		5,000,000
		ゲノム講習会用書籍		508,629
		専門医試験会議室使用料		45,820
	前払費用	ICC Rmembership subscription		276,475
	仮払金	第109回総会事務局交通費(全額返金予定)		141,700
流動資産合計				184,789,222
(固定資産)				
基本財産	普通預金	普通預金三菱UFJ銀行本郷支店		30,000,000
特定資産	学術医療振興基金引当預金	普通預金三菱UFJ銀行春日町支店		98,436,396
	国際交流基金引当預金	普通預金りそな銀行本郷支店		20,157,282
	100周年記念事業引当預金	普通預金みずほ銀行本郷支店		2,589,705
その他固定資産	器具工具備品	サーバー等	希少がん用	21,797,883
	ソフトウェア	データシステム等	政府委託事業用	8,963,138
	保証金	聖堂前ビル		1,578,780
	長期貸付金	日本専門医機構		1,000,000
固定資産合計				184,523,184
資産合計				369,312,406
(流動負債)				
	未払金	AMED JP-AID2019 備品等		35,840,460
	前受金			5,684,000
		第14回サマーフェスト賛助金		737,000
		終身会費部会		4,800,000
		令和2年度一般会費		147,000
	預り金			1,453,982
		源泉所得税		223,330
		住民税		131,500
		社会保険料		1,099,152
	未払法人税等	法人住民税均等割		213,600
	未払消費税等	消費税確定納付分		3,222,400
流動負債合計				0
(固定負債)				
	退職給付引当金			13,522,140
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				369,312,406

- (3) 令和3年度事業計画
一般社団法人日本病理学会 令和3年度事業計画
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
- I. 学術集会、研究会等の開催
1. 学術集会の開催
- (1) 第110回日本病理学会総会
(於東京・北川昌伸会長)
- (2) 第67回日本病理学会秋期特別総会
(於岡山・吉野正会長)
2. 研究会、講習会等の開催
- (1) 第17回日本病理学会カンファレンス
- (2) 細胞診講習会・病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会・分子病理専門医講習会
- (3) ゲノム病理標準化講習会

- (4) 第15回診断病理サマーフェスト
- (5) 各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等
- 3. 市民公開講座・シンポジウムの開催
- II. 学会誌、学術図書等の発行
 - 1. 「日本病理学会会誌」の発行（第110巻第1～2号）
 - 2. 「Pathology International」の発行（Vol. 71 4～12, Vol. 72 1～3）
 - 3. 「診断病理」の発行（第38巻第2～4号, 第39巻第1号）
 - 4. 「日本病理学会会報」の発行（第396～407号）
 - 5. 「お知らせ」（第39号～40号）の発行
 - 6. 「病理専門医部会報」の発行（令和3年 第2～4号, 令和4年 第1号）
- III. 研究および調査並びに知識の普及
 - 1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第62輯（平成31/令和元年症例）
 - 2. 剖検輯報編集方法の充実
 - 3. 剖検記録データベースの更新
 - 4. 病理学卒前教育の充実
 - 5. インターネットホームページの充実
 - 6. 政府等委託・研究事業の実施
- IV. 研究の奨励および研究業績の表彰
 - 1. 日本病理学賞（宿題報告）の授与
 - 2. 病理診断学賞（病理診断特別講演）の授与
- 3. 学術研究賞（A演説）の授与
- 5. 学術奨励賞の授与
- 6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与
- V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動
 - 1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
 - 2. 病理専門医の広報
 - 3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
 - 4. 病理専門研修プログラムの運用指導
 - 5. 分子病理専門医の認定
 - 6. 病理解剖研修の充実
 - 7. 生涯教育の充実
 - 8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
 - 9. 病理精度管理体制の充実
 - 10. 各種ガイドラインの作成
 - 11. 医療における病理診断・病理解剖の推進
- VI. 学術団体等との協力、連絡
 - 1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）の実施
 - 2. 腫瘍取扱い規約等の改訂・「領域横断的癌取扱い規約」の更新
 - 3. 海外病理学会との交流
- VII. その他目的を達成するために必要な事業
 - 1. 会員システムの充実
 - 2. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(4) 令和3年度収支予算書

(2021年4月1日から2022年3月31日)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	150	150	0
基本財産受取利息	150	150	0
特定資産運用益	2,660	2,660	0
特定資産受取利息	2,660	2,660	0
受取会費	74,174,000	69,132,776	5,041,224
学術評議員会費	16,692,000	17,732,080	△1,040,080
一般会員年会費	36,580,000	32,721,920	3,858,080
賛助会員受取会費	100,000	0	100,000
終身会員受取会費	4,500,000	3,600,000	900,000
病理専門部会費	16,302,000	15,072,000	1,230,000
海外会員年会費	0	6,776	△6,776
事業収益	187,675,836	149,387,488	38,288,348
学術集会収益	88,117,197	88,117,197	0
広告料収益	0	274,000	△274,000
輯報刊行物収益	9,405,000	10,350,000	△945,000
専門医制度収益	62,072,000	28,260,000	33,812,000
病理専門医部会収益	4,650,980	4,609,732	41,248
講習会等収益	8,922,000	6,683,240	2,238,760
支部集会等収益	5,377,000	5,377,000	0
賠償保険事務収益	3,473,659	3,151,319	322,340
ゲノム講習会収益	5,658,000	2,565,000	3,093,000
受取委託収益	0	257,742,562	△257,742,562
受取委託収益	0	257,742,562	△257,742,562

受取補助金等	638,400	78,358,133	△ 77,719,733
受取寄付金	13,280,000	10,005,393	3,274,607
受取寄付金	13,280,000	10,005,393	3,274,607
雑収益	11,168,695	22,125,019	△ 10,956,324
受取利息	2,620	1,752	868
雑収益	394,300	6,229,607	△ 5,835,307
科学技術振興事業団	0	0	0
PIロイヤリティ	6,539,655	6,832,437	△ 292,782
著作権使用料	125,520	684,470	△ 558,950
編集協力費収入	383,600	3,560,073	△ 3,176,473
日病会誌	621,000	827,160	△ 206,160
許諾料収入	0	0	0
転載料	3,102,000	3,989,520	△ 887,520
経常収益計	286,939,741	586,754,181	△ 299,814,440
(2) 経常費用			0
事業費	274,918,403	560,884,600	△ 285,966,197
給与手当	39,284,826	19,444,224	19,840,602
臨時雇賃金	0	176,800	△ 176,800
退職給付費用	1,880,460	1,577,460	303,000
福利厚生費	20,938	29,337	△ 8,399
会議費	5,048,150	1,414,567	3,633,583
旅費交通費	4,767,644	16,039,535	△ 11,271,891
通信運搬費	6,353,910	46,871,972	△ 40,518,062
消耗什器備品費	1,865,380	15,636,250	△ 13,770,870
消耗品費	2,137,612	14,621,942	△ 12,484,330
修繕費	1,306,250	57,116	1,249,134
印刷製本費	27,123,580	37,234,586	△ 10,111,006
光熱水料費	520,950	476,112	44,838
賃借料	9,529,362	20,850,039	△ 11,320,677
諸謝金	5,358,384	17,986,008	△ 12,627,624
租税公課	42,000	13,150	28,850
支払負担金	0	80,000	△ 80,000
支払助成金	8,121,650	3,149,781	4,971,869
支払寄付金	0	2,500,000	△ 2,500,000
委託費	36,904,689	232,832,329	△ 195,927,640
雑費	816,600	8,372,909	△ 7,556,309
支払手数料	2,251,184	4,348,874	△ 2,097,690
学術集会会場費	30,097,670	29,811,254	286,416
学術集会設営費	22,951,927	22,265,263	686,664
学術集会人件費	22,987,767	22,955,767	32,000
学術集会業務委託費	10,171,399	9,224,515	946,884
学術集会広告費	4,119,120	4,119,120	0
学術集会印刷費	11,205,260	10,422,908	782,352
学術集会会議費	14,622,256	14,377,756	244,500
学術集会諸費用	5,429,435	3,995,026	1,434,409
管理費	10,993,874	25,005,223	△ 14,011,349
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	274,632	△ 274,632
法定福利費	6,387,676	2,846,725	3,540,951
会議費	0	864,669	△ 864,669
旅費交通費	0	387,791	△ 387,791
通信運搬費	0	416,353	△ 416,353
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	363,841	△ 363,841
修繕費	0	324,000	△ 324,000
印刷製本費	0	2,536,800	△ 2,536,800
光熱水料費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	0	190,000	△ 190,000

租税公課	314	192,430	△ 192,116
支払負担金	2,565,100	1,362,000	1,203,100
支払助成金	0	200,000	△ 200,000
委託費	0	1,019,081	△ 1,019,081
雑費	0	1,028,001	△ 1,028,001
減価償却費	2,040,784	12,015,210	△ 9,974,426
支払手数料	0	983,690	△ 983,690
経常費用計	285,912,277	585,889,823	△ 299,977,546
評価損益等調整前当期経常増減額	1,027,464	864,358	163,106
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,027,464	864,358	163,106
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期一般正味財産増減額	1,027,464	864,358	163,106
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,027,464	864,358	163,106

3. 令和3年度新学術評議員の推薦について

下記の本学会学術評議員資格に照らし合わせて、学術評議員として適当と思われる会員がありましたら、別紙の書式を用いてその候補者の所属機関、職名、略歴並びに業績目録をそえ、推薦者2名連署（ともに推薦時に学術評議員であること）のうへ、令和3年1月29日（消印有効）までに学会事務局宛書留等にてお送り下さい（申請書／推薦書はホームページよりダウンロードして下さい）。

各位よりご推薦のありました候補者に付きましては、資格審査委員会による審査を経て、理事会にて学術評議員として適当であるかを審議し、認められた候補者を春期総会時に開催される学会総会にて承認を受けることとなります。

参照 HP:

<http://pathology.or.jp/news/whats/R3gakuhyo.html>

学術評議員資格

病理研究歴満7年以上、会員歴5年以上の会員で以下の条件の一つを満たすもの

初期臨床研修期間は含めることができませんので注意してください

- 病理学（学際分野を含む）に関する原著論文（英語論文）3編以上で、少なくとも1編の筆頭著者である者
- 病理専門医あるいは口腔病理専門医資格取得者で論文発表の筆頭著者1編以上である者
- 入会歴5年以上を満たさないが、傑出した業績を上げていると資格審査委員会で認めた者

注：1) 論文は査読のある雑誌に掲載されていること。

2) 病理専門医あるいは口腔病理専門医の論文は症例

報告を含めることができる。

- 論文については、5編以内の別刷各1部（コピー可）を提出すること。

提出書類

- 学術評議員申請書/推薦書式（上記参照 HP よりダウンロードして下さい）

※参照：専門領域キーワード一覧表（PDF形式）

（上記参照 HP よりダウンロードして下さい）

※学術評議員である推薦者2名の直筆署名があること。

- 代表的な自著論文の別刷りのコピー 5編以内。

※上記ABCの資格のうち、候補者が必要とされる業績をみたとしていることが証明できる分を提出すること。

受付期限

令和3年1月29日（金）消印有効

提出先・問合せ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階
一般社団法人日本病理学会 学術評議員推薦受付係
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp TEL: 03-6206-9070

書類受け取りに際して:

- 簡易書留もしくはそれに準ずる形でお送り下さい。
- 書類の受領確認連絡をメールにて順次差し上げますので、申請書には会員システムに登録しているメールアドレスを必ずご記入下さい（会員システムに登録しているメールアドレスを普段使っていない場合は、使っているメールアドレスに更新して下さい。誤送信を防ぐ為、はっきりと読みやすい字でお願いいたします）。なお、発送後10日を過ぎても受領連絡の無い場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。メールアドレス未記入の場合、受領確認のご連絡は致しかねますの

で予めご了承ください。

参考

学術評議員関連規定（抜粋）

http://pathology.or.jp/news/pdf/R3gakuhyo_sankou.pdf

その他：

1. 学術評議員のご申請、ご推薦に際して

学術評議員は、「本学会の教育、研究、病理診断に関わる事項について評議するとともに、定款ならびにここに定める資格をもって、病理学の発展に貢献する責務を有する。」ものとなっています。こちらの主旨を充分ご理解の上、ご申請、ご推薦をお願いいたします。

2. 学術評議員のキーワード登録について

上記1の主旨に従い、学術評議員には、専門分野・キーワードを学会に登録いただくことになっています。これらのデータは会員専用ページに掲載され、学術集会での座長選出や“Pathology International”の査読依頼など、学術交流のさらなる活発化のために役立てられています。

3. 学術評議員年会費について

平成26年度より、一般会員と同額（13,000円）に値下げとなりました。尚、学会では、年会費の口座自動振り替えのご利用を推進しています。まだご利用でない方は是非ご検討下さい。

4. 会員システムについて

- ① 平成29年7月より新たに会員システムが稼働しております。各自ログインの上、登録内容の確認をお願いいたします。
- ② 平成31年度より学術評議員の更新（2年ごと）が開始となりました。その際は恐れ入りますがキーワードの新規登録をお願いいたします。（学術評議員申請の際に登録いただいたキーワードは反映されておられません。）
- ③ 令和3年度学術評議員推薦が承認された会員におかれましては、初回の更新手続きが令和5年度となります。2回目以降の更新の際には、登録されたキーワードがデフォルトで表示されますので、確認・変更のみとなります。
- ④ また本学会では「UMIN」（大学病院医療情報ネットワーク）のシステムにて、英文誌の閲覧や、MLの配信、病理情報ネットワークの利用などを行っています。学術評議員の推薦を受けられる際は今一度ご自身のIDとパスワードをご確認下さい。

4. 第67回（令和3年/2021年）日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説（A演説）、症例研究賞演説（B演説）について（公募のお知らせ）

令和3年/2021年秋開催予定の第67回日本病理学会秋期特別総会（岡山）における学術研究賞演説（A演説）と症例研究賞演説（B演説）の募集をいたします。

これら演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/gakujiyutu/2021AB.html>

学術研究賞演説（A演説）

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

症例研究賞演説（B演説）

- (1) 症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する研究であること。

学術研究賞演説（A演説）、症例研究賞演説（B演説）担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

記

学術研究賞演説（A演説）

- (1) 応募資格：日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。
- (2) 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになりました。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（900字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けたもの。
- ② 講演内容に直接関係のある自著論文20編以内の一覧。
*③の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて下さい。
- ③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文5編以内の別刷。

上記①～③の書類を、順番にひとつの PDF ファイルとしてつないでお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

(3) 提出先と提出方法：

提出先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- ① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。
 - i) E-mail の件名として「A演説応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。

- ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 演題名 を記載下さい。

ア) メール添付 ただし 5MB まで

イ) UMIN ファイル交換システム
<https://www.umin.ac.jp/upload/>

病理学会事務局 ID: jsp-admin

ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス
（「宅ファイル便」, 「データ便」等）

エ) USB, CD-ROM 等の郵送送付

オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）

- ② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつないだもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。

- i) 件名・表題等は「A 演説応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

- (4) 募集締切：令和 3 年 1 月 31 日（日）23:59 必着

症例研究賞演説（B 演説）

(1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

(2) 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつないだもの）にて提出していただくことになりました。

① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（900 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けたもの。

② 講演内容に関係のある自著論文の一覧（10 編以内）。

*③の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて下さい。

③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文 3 編以内の別刷。

上記①～③の書類を、順番にひとつの PDF ファイルとしてつないでお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

(3) 提出先と提出方法：上に記した学術研究賞演説（A 演説）の“(3) 提出先と提出方法”に同じ。

※上記「A 演説」の文言を「B 演説」に読み替えの上、ご

対応下さい。

(4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

第 67 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説）、症例研究賞演説（B 演説）担当者は、令和 3 年 3 月の学術委員会において厳正・公明に選考し、同日の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

5. 令和 2 年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

学術奨励賞は、病理学の基礎的研究あるいは診断業務の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

受賞対象者は、年度末（令和 3 年 3 月 31 日）において継続して 5 年以上の会員歴をもつ 40 歳以下の会員、あるいは学位取得後 10 年以内の会員です。学術評議員各位には、下記の要領で候補者の推薦をお願いいたします。

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/R02Incitement-award.html>

推薦要領

1. 本年度は、数名への授与を予定しています。
2. 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつないだもの）にて提出していただくことになりました。

(1) 「日本病理学会学術奨励賞申請書」

受賞候補者となる本人が上記よりダウンロードした書式に必要な事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

* (2) の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて下さい。

(2) 本課題に関する論文のうち、代表論文 3 編以内別刷り。

(3) 「日本病理学会学術奨励賞受賞候補者推薦書」

推薦者が上記よりダウンロードした書式に必要な事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

上記 (1)～(3) の書類を、順番にひとつの PDF ファイルとしてつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

3. 提出先と提出方法:

提出先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

申請は受賞候補者となる本人から書類をお送り下さい。

① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。

i) E-mail の件名として「学術奨励賞応募申請」と

し、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。

ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 対象課題もしくは功績名を記載して下さい。

ア) メール添付 ただし 5MB まで

イ) UMIN ファイル交換システム
<https://www.umin.ac.jp/upload/>
病理学会事務局 ID: jsp-admin

ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス
（「データ便」等）

エ) USB、CD-ROM 等の郵送送付

オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）

② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。

i) 件名・表題等は「学術奨励賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。

ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。

iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

4. 募集締切：令和 3 年 1 月 31 日（日）23：59 必着

5. 学術奨励賞受賞者（受賞者）には、賞状と記念品が贈呈されます。

6. 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。

7. 受賞者は、令和 4/2022 年度英国病理学会若手会員派遣事業（国際交流委員会）が実施される場合、その派遣候補者（2 名、本学会より渡航費補助金 15 万円までを支給）となる可能性があります。

8. 例年受賞者に参加いただく英国病理学会派遣候補者を選考するための「学術奨励賞受賞講演」（英語セッション）については第 110 回総会（令和 3/2021 年 4 月）での開催はありません。日を改めて選考のための講演会を WEB 形式等で実施する場合は、改めて受賞者にご連絡をいたします。

9. なお、本件について、ご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

6. 日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞の公募について

2011 年（平成 23 年）に日本病理学会は創立 100 周年を迎えました。日本病理学会 100 周年記念事業実行委員会では、

病理学の医学・医療における位置づけを再確認し、病理学会のあるべき姿と進むべき方向を、より多くの方々と語り合う機会として、創立 100 周年記念事業を行ってまいりました。さらに、これらの事業と東日本大震災への義援金に加えて、日本病理学会の発展に資するプロジェクトを募集し、2020 年までの 10 年間にわたって実施することと致しました。「日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞」は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会（旧・若手医師確保に関する委員会）」が応募し、採用された公募プロジェクトです。今年度が 10 年度目にあたります。

本プロジェクトの概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要があります。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011 年から 10 年間に渡り、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による 1 次審査（8 名以内）と令和 3 年 3 月 29（月）に web 上において口頭発表による 2 次審査を行い、今年度は 3 名を選出する。第 110 回日本病理学会総会で表彰し、賞金 10 万円を付与する。

下記の要領で候補者を公募します。

対象：

以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者とする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室（あるいはそれに相当する教室）博士課程に所属する学生であること（応募時）。
- 2) 応募翌年度の 4 月 1 日において、33 才以下であること。（1 月 31 日メ切）
（令和 2 年度対象者：昭和 62 年 4 月 2 日以降生まれ）
- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学の MD/PhD コースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1 年間以上、日本病理学会の会員である者。
- 5) ただし、出産・育児休暇（休学を含む）を医学部・歯学部入学以降に取っていた場合、大学・病院・指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる証明書（任意の形式）を提出することにより、同期間（最大 2 年間まで）の年齢制限の延長を認めることとする。

募集締切：令和 3 年 1 月 31 日（日）23：59 必着

提出書類：

*昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつのファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになっております。

すべて A4 の大きさの PDF で提出のこと。

下記の書類を、順番にひとつの PDF ファイルにつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

- 1) 履歴書（高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること）
- 2) 業績録（著者名をすべて記載し、代表論文 3 編までに関して、要旨を含む第 1 ページのコピー 1 枚ずつを提出）
- 3) 本人自身の研究業績の要約（1 枚、必ずタイトルをつけること）
- 4) 所属講座の教授（あるいは指導教官）の推薦書（1 枚）
- 5) 大学院在籍証明書（コピー可）
- 6) 医師免許証のコピー（MD/PhD コースの学生は不要）
- 7) 受賞した場合、受賞後 2 年以内に本学会学会誌 Pathology International へ投稿を行うという誓約書（形式自由；原著あるいは総説で共著可）。
- 8) 指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる出産・育児休暇（休学を含む）の証明書（任意の形式；該当者のみ）

※尚、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明した場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求めることがある。

提出先：

日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。
 - ① E-mail の件名として「病理学研究新人賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
 - ② 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 研究業績の要約のタイトルを記載下さい。
 - ア) メール添付 ただし 5MB まで
 - イ) UMIN ファイル交換システム
<https://www.umin.ac.jp/upload/>
病理学会事務局 ID：jsp-admin
 - ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス
〔「データ便」等〕
 - エ) USB、CD-ROM 等の郵送送付
 - オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）
- (2) 上記 (1) の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。
 - ① 件名・表題等は「病理学研究新人賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して

下さい。

- ② ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
- ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

選考予定：

1 次審査の結果は、令和 3 年 2 月末までにメールで連絡する。今年度の 2 次審査は令和 3 年 3 月 29 日（月）14～17 時に WEB 上で実施する（発表 10 分、討論 10 分の予定）。2 次審査は病理学会より指名された審査委員により行う。2 次審査は限定公開とし、発表者本人以外に、本人の推薦する 1 名のアクセスを可能とする（教室員など多人数での視聴可）。

7. 2021 年度ハンガリー病理解剖トレーニングコースについて

2021 年度ハンガリー病理解剖トレーニングコース（夏期）は、ゼンメルweis 大学との協議の結果、新型コロナウイルス感染の世界的拡大により現在のところ開催の予定はありません。なお、延期開催については、新型コロナウイルス感染状況次第ではその可能性を考慮する予定でおります。その際は当ホームページでお知らせ致します。

8. 第 69 回秋期特別学術集会会長・第 113 回学術集会会長の募集について

第 69 回（令和 5/2023 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 113 回（令和 6/2024 年度）学術集会会長を以下のとおり募集いたします。

参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/kaichouboshuu-201120.html>

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第 69 回秋期特別学術集会会長の場合は令和 5/2023 年 11 月 1 日に、また、第 113 回春期学術集会会長の場合は令和 6/2024 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65 歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 応募者は、日本病理学会学術集会開催要領（別記）の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集会に対する考え方、学術集会の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。記入に際しては、用紙に適切に収まるよう配慮すること。
4. 応募の締切りは、令和 3 年 2 月末日（消印有効）ま

でとすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

提出先・問い合わせ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル
7階

一般社団法人日本病理学会 会長公募受付係

E-mail jsp-admin@umin.ac.jp TEL03-6206-9070

第69回秋期特別学術集会会長・第113回学術集会会長の応募用紙は上記参照HPよりダウンロードしてください。

【別記】

日本病理学会学術集会開催要領

本学術集会開催要領は、学術集会改革案（平成18年5月1日決定）の主旨に基づき、国際化への対応を含め、改めて学術集会の開催に係る要領を定めたものである。

【背景】

日本病理学会は「病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことを目的としており、学術集会は「病理学に関わる学会員が研究発表と意見交換を通して持続的な後継者の育成をするとともに、病理学に関する最新情報の収集を行う場」として重要な役割を担っている。病理学が対象とする分野は広く、基礎研究においては様々な研究手段や技術を包含するのみならず、病理診断の精度向上は社会的要請として日本病理学会に課せられている。これら多種多様な分野の連結を図り、新たな医学と医療の発展に寄与するとともに、医療の質を担保する専門医制度の運用と会員の医療レベルの向上に努める必要がある。一方、学問・技術の進歩による研究活動の深化と拡散化、業務の拡大や専門化、支部活動の活性化、学会・研究会の増加などにより、学会員の学術集会に求めるところも変化してきている。さらに、若手病理医・研究医の育成、国際化への対応も重要な課題となっている。

【開催要領】

これらの日本病理学会における命題・課題をふまえ、学術集会では「学術研究活動の発表・意見交換」と「診断病理に関する最新情報の収集」を乖離することなく保証し、次に掲げる観点に添って開催する。

- (1) 病理学に関わる学会員の学術成果の発表の場を提供し、発表を通して若手研究者・病理医の育成を行う。
- (2) 蓄積された完成度の高い研究成果や中堅クラスの研究成果の発表を通して病理医・研究者を育成・刺激する。
- (3) 病理診断・専門医に関連する講習会を通じて診断

精度の維持・向上と新知識の習得を保証し、病理診断医育成を図るとともに、基礎病理学的研究と診断病理学的知見を結びつける研究の推進と発表を促進する。

- (4) 世界への情報発信とアジア・オセアニア地域での病理学の中核を担うために国際化に取り組む、など。
- (5) 病理学に興味をもつ医学生を増やすため、学部学生の発表の場を準備するとともに、学部学生の参加に便宜を図る。

【具体的留意事項】

- (1) 春期学術集会：春期学術集会の学術プログラムが研究と病理診断などのバランスの取れた内容とするため「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」とシンポジウム、ワークショップ、一般発表演題との重なりを少なくする。そのために病理学会の事業である「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」については、それぞれ病理診断講習会委員会、研究推進委員会は学会長と密接な連携により、その内容の充実を図る。専門医資格更新に必要な講習会を実施する。「宿題報告」は1会場で行い plenary とする。
- (2) 秋期特別総会：「学術研究賞(A演説)(7-8件)」、「症例研究賞演説(B演説)」及び「病理診断特別講演(2件)」は1会場で行い plenary とする。会長は学術委員会と密な連携をとり、「シンポジウム」、「教育講演」、「公募演題」などは、会長の裁量にて複数会場で行なうことも可とする。IAP教育セミナーなどとの効果的な連動を考慮する。アジア若手研究者を招聘し発表する場として、インターナショナルポスターセッションを開催する。
- (3) 学術集会プログラム統一性の確保：春期学術集会会長および秋期特別総会会長の立候補者は、学術集会プログラムの統一性の確保や類似プログラムの反復・乱立の回避などのため、プログラム内容や企画方針などを応募申請書に明記する。
- (4) 国際化への対応：学術集会の国際化を促進するために、英語での参加登録、インターナショナルセッションの設置、日程表の英語版の作成などに努める。
- (5) 実際の開催・運営に係る詳細な注意事項は別途定める。

平成26年11月19日 理事会策定

平成27年3月17日 同一部改定

平成28年3月25日 同一部改定

平成29年12月1日 常任理事会一部改定

お知らせ

1. 第52回（2021年度）公益財団法人三菱財団自然科学研究助成について

募集期間：2021年1月6日から2021年2月3日

参照 HP：<http://www.mitsubishi-zaidan.jp/>

お問合せ：（公財）三菱財団事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-1

三菱商事ビルディング 21階

TEL：03-3214-5754 FAX：03-3215-7168

E-mail：info@mitsubishi-zaidan.jp

2. 第10回記念企画 日本遺伝子診療学会:遺伝子診断・検査技術推進フォーラム 公開シンポジウム 2020

日時：2021年1月27日（水） 10：00～17：00

開催形態：WEB開催（オンデマンド配信）

2021年1月27日（水）～2月17日（水）

参加登録締切：2021年1月8日（金）

詳細につきましては以下のサイトをご覧ください。

http://www.gene-dt.jp/frame/f_forum.html